

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2001-294951(P2001-294951A)

【公開日】平成13年10月26日(2001.10.26)

【出願番号】特願2001-20887(P2001-20887)

【国際特許分類】

C 22 B	11/00	(2006.01)
B 01 J	19/10	(2006.01)
C 22 B	1/00	(2006.01)
C 22 B	7/00	(2006.01)

【F I】

C 22 B	11/04	
B 01 J	19/10	
C 22 B	1/00	6 0 1
C 22 B	7/00	G

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月28日(2008.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ガスタービンエンジン部品(10)上のPt含有被膜からPtを回収するための方法において、前記部品(10)を化学剥離剤に接触させて前記被膜の成分を溶解除去することにより、溶解された前記成分を含有する浸出液を得ると共に、前記部品(10)の表面(16)に酸による酸化生成物のフィルム(12、14)を生成させる工程と、前記浸出液及び前記フィルム(12、14)のうちでより高いPt含量を有するものからPt含有残留物を回収する工程と、前記残留物を精製することによってそれからPtを回収する工程とを含む、方法。

【請求項2】前記フィルム(12、14)を前記部品(10)から除去することにより、少なくとも約10%のPtを含有する富Pt残留物を得る工程を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】前記フィルム(12、14)を前記部品(10)から除去する工程が、集積容器の上方においてハンドブラシ掛けを行うことによって前記部品(10)から前記フィルム(12、14)を取除き、そして前記集積容器内部に前記富Pt残留物を集めることによって達成される請求項2記載の方法。

【請求項4】前記フィルム(12、14)を前記部品(10)から除去する工程が、水密の室内において前記部品(10)に高圧水流を当てて前記部品(10)から前記フィルム(12、14)を取除き、そして前記高圧水流に由来する水中に富Pt残留物が懸濁されて成るスラリーとして前記残留物を得ることによって達成されると共に、前記方法が前記残留物を精製することによってそれからPtを回収するのに先立って前記水から前記残留物を分離する工程を更に含む請求項2記載の方法。

【請求項5】前記フィルム(12、14)を前記部品(10)から除去する工程が、超音波水洗を行って前記部品(10)から前記フィルム(12、14)を取除き、そして水中に富Pt残留物が懸濁されて成るスラリーとして前記残留物を得ることによって達成さ

れると共に、前記方法が前記残留物を精製することによってそれから P t を回収するのに先立って前記水から前記残留物を分離する工程を更に含む請求項 2記載の方法。

【請求項 6】 前記フィルム（12、14）を前記部品（10）から除去する工程が、水中における振動加工を行って前記部品（10）から前記フィルム（12、14）を取除き、そして水中に富 P t 残留物が懸濁されて成るスラリーとして前記残留物を得ることによって達成されると共に、前記方法が前記残留物を精製することによってそれから P t を回収するのに先立って前記水から前記残留物を分離する工程を更に含む請求項 2記載の方法。

【請求項 7】 前記振動加工が、ポリウレタンゴム媒体及びセラミック媒体から成る群より選ばれた媒体を用いて行われる請求項 6記載の方法。